

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アーキテクチャ		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク
授業の概要				
ソフトウェアアーキテクチャの基本概念、原則、およびパターンについて理解させる。さらに、ソフトウェアアーキテクチャがソフトウェアシステムの品質特性(拡張性、保守性、可用性など)にどのように影響を与えるかを学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
ソフトウェアアーキテクチャの基本概念、原則、およびパターンについて理解させる。さらに、ソフトウェアアーキテクチャがソフトウェアシステムの品質特性(拡張性、保守性、可用性など)にどのように影響を与えるかを学ぶ。				
回	テーマ	内容		
1	アーキテクチャの定義と重要性	アーキテクチャの定義と重要性		
2	ソフトウェア品質特性とアーキテクチャの関係	ソフトウェア品質特性とアーキテクチャの関係		
3	ユースケース駆動設計と要件分析	ユースケース駆動設計と要件分析		
4	ドメインモデリングとアーキテクチャのマッピング	ドメインモデリングとアーキテクチャのマッピング		
5	アーキテクチャドキュメントの作成と共有	アーキテクチャドキュメントの作成と共有		
6	クライアント-サーバーアーキテクチャ	クライアント-サーバーアーキテクチャ		
7	マイクロサービスアーキテクチャ	マイクロサービスアーキテクチャ		
8	レイヤードアーキテクチャ	レイヤードアーキテクチャ		
9	パイプ&フィルタアーキテクチャ	パイプ&フィルタアーキテクチャ		
10	モノリシックアーキテクチャ	モノリシックアーキテクチャ		
11	ファサードパターン	ファサードパターン		
12	データマッパーパターン	データマッパーパターン		
13	パイプラインパターン	パイプラインパターン		
14	イベント駆動パターン	イベント駆動パターン		
15	期末試験	期末試験		

回	テ ー マ	内 容		
16	アーキテクチャ品質評価手法	アーキテクチャ品質評価手法		
17	アーキテクチャの可用性と信頼性の評価	アーキテクチャの可用性と信頼性の評価		
18	パフォーマンス評価と最適化	パフォーマンス評価と最適化		
19	アーキテクチャの保守性と拡張性の向上	アーキテクチャの保守性と拡張性の向上		
20	リファクタリングとアーキテクチャの進化	リファクタリングとアーキテクチャの進化		
21	モジュール化とコンポーネント設計	モジュール化とコンポーネント設計		
22	ソフトウェアアーキテクチャのエンタープライズ展開	ソフトウェアアーキテクチャのエンタープライズ展開		
23	クラウドアーキテクチャとマルチテナント設計	クラウドアーキテクチャとマルチテナント設計		
24	サーバーレスアーキテクチャ	サーバーレスアーキテクチャ		
25	コンテナ化とマイクロサービスオーケストレーション	コンテナ化とマイクロサービスオーケストレーション		
26	イベントソーシングとCQRSアーキテクチャ	イベントソーシングとCQRSアーキテクチャ		
27	分散システムアーキテクチャ (CAP定理、一貫性モデル)	分散システムアーキテクチャ (CAP定理、一貫性モデル)		
28	スケーラビリティとパフォーマンスのためのアーキテクチャデザイン	スケーラビリティとパフォーマンスのためのアーキテクチャデザイン		
29	セキュリティとプライバシーのためのアーキテクチャ原則	セキュリティとプライバシーのためのアーキテクチャ原則		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・新・明解C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造第2版 ・プログラミングコンテスト攻略のためのアルゴリズムとデータ構造 ・ソフトウェアアーキテクチャの基礎 		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
基礎数学 1		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	永山 督
授業の概要				
講義形式にて、IT情報コースにおける数学的基礎知識および計算力を身に付けるために、各内容の解説・例題・演習を行う				
授業終了時の到達目標				
工学的知識の基礎である数学の基本的な計算能力や基礎知識を身に付ける。				
回	テーマ	内 容		
1	導入	講師紹介 計算問題演習		
2	方程式	方程式を解く 等式変形 不等式 絶対値 2次関数		
3	指数計算	指数の法則 累乗の性質 指数法則 指数の拡張		
4	指数の応用	指数関数のグラフ 指数方程式 指数関数の最大値・最小値		
5	対数計算	対数の性質 対数関数のグラフ 対数方程式 対数関数の最大値・最小値		
6	進数とその変換	記数法(n進法)		
7	三角比	$\sin\theta$ 、 $\cos\theta$ 、 $\tan\theta$ 弧度法 周期 三角方程式		
8	複素数	絶対値 偏角		
9	微分計算	微分係数 導関数 微分公式 極値		
10	微分の応用	関数の微分		
11	積分計算	不定積分の計算 指数関数の不定積分 三角関数の不定積分		
12	積分の応用	定積分 偶関数・奇関数の積分 積分方程式		
13	集合	集合とベン図 ド・モルガンの法則 \cup (カップ)と \cap (キャップ)の計算		
14	集合と論理式	命題 条件 必要十分条件 逆・裏・対偶 背理法 数学的帰納法		
15	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・配布資料		期末試験 出席率 授業態度	90.0% 5.0% 5.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
英語 (中国語) 1		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位 (60時間)	必須	安田 絹子
授業の概要				
・ TOEIC対策講座で実用的な英語運用能力の獲得をする。				
Listening (L)、Reading (R)、Grammar (G) の問題演習をして、各自目標点到達に向けて成績向上に努めさせる。				
授業終了時の到達目標				
○TOEIC対策講座で実用的な英語運用能力の獲得をする。				
Listening (L)、Reading (R)、Grammar (G) の問題演習をして、各自目標点到達に向けて成績向上に努めさせる。				
回	テーマ	内 容		
1	オリエンテーション	(L) 写真描写問題 Part 1 Unit 1 (R) 短文穴埋め問題 Part 5 Unit 1 (G) 品詞問題 1-19		
2	(L) 応答問題	Part 2 Unit 3-4 (R) Part 5 Unit 2 (G) 品詞問題 20-28		
3	(L) 応答問題	Part 2 Unit 5 (R) Part 5 Unit 3 (G) 品詞問題 29-32		
4	(L) 応答問題	Part 2 Unit 7 (R) Part 5 Unit 4 (G) 実戦問題: 基礎編 1-20		
5	(L) 応答問題	Part 2 Unit 9 (R) Part 5 Unit 5 (G) 実戦問題: 基礎編 21-40		
6	(L) 会話問題	Part 3 Unit 10 (R) Part 5 Unit 6 (G) 実戦問題: 基礎編 41-60		
7	(L) 会話問題	Part 3 Unit 11 (R) Part 5 Unit 7 (G) 実戦問題: 基礎編 61-80		
8	(L) 会話問題	Part 3 Unit 12 (R) 長文穴埋め問題 Part 6 Unit 8 (G) 実戦問題: 基礎編 81-100		
9	(L) 会話問題	Part 3 Unit 13 (R) Part 6 Unit 9&10 (G) 実戦問題: 前置詞or 接続詞問題を極める58問 1-10		
10	(L) 会話問題	Part 3 Unit 14 (R) Part 7 Unit 11 (G) 実戦問題: 前置詞or 接続詞問題を極める58問 11-20		
11	(L) 会話問題	Part 3 Unit 15 (R) Part 7 Unit 12 & 13 (G) 実戦問題: 前置詞or 接続詞問題を極める58問 21-30		
12	(L) 会話問題	Part 4 Unit 16 (R) 読解問題 Part 7 Unit 14 & 15 (G) 実戦問題: 前置詞or 接続詞問題を極める58問 31-40		
13	(L) 説明文問題	Part 4 Unit 17&18 (R) 読解問題 Part 7 Unit 16 & 1 (G) 実戦問題: 前置詞or 接続詞問題を極める58問 41-58		
14	(L) 説明文問題	Part 4 Unit 19&20 (R) 読解問題 Part 7 Unit 18~20 (G) 実戦問題: 応用問題 1~20		
15	定期試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・ 公式TOEIC Listening&Reading ・ TOEIC L&Rテスト 文法問題でる1000問 プラクティス リスニング編 ・ TOEIC Listening&Reading		出席率 授業態度 期末試験	30.0% 10.0% 60.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
C言語 1		医療事務学科 IT情報コースIT情報コース/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク
授業の概要				
C言語でプログラミングの基本的な構成や用語を勉強する。				
授業終了時の到達目標				
C言語でプログラミングの基本的な構成や用語を勉強する。				
回	テーマ	内容		
1	C言語の開発環境を構築	C言語の開発環境を構築		
2	プログラミングの基礎概念	プログラミングの基礎概念		
3	C言語の概要と歴史	C言語の概要と歴史		
4	開発環境のセットアップ	開発環境のセットアップ		
5	整数型と浮動小数点型	整数型と浮動小数点型		
6	文字型と文字列型	文字型と文字列型		
7	変数の宣言と代入	変数の宣言と代入		
8	定数の使用	定数の使用		
9	条件分岐 (if文、switch文)	条件分岐 (if文、switch文)		
10	繰り返し (forループ、whileループ)	繰り返し (forループ、whileループ)		
11	制御文の制約と注意点	制御文の制約と注意点		
12	配列の宣言と要素へのアクセス	配列の宣言と要素へのアクセス		
13	文字列の操作と処理	文字列の操作と処理		
14	ポインタの基本的な概念と使用法	ポインタの基本的な概念と使用法		
15	関数の定義と呼び出し	関数の定義と呼び出し		

回	テ ー マ	内 容		
16	引数と戻り値の使用	引数と戻り値の使用		
17	再帰関数の実装	再帰関数の実装		
18	ファイルのオープンとクローズ	ファイルのオープンとクローズ		
19	ファイルからのデータの読み込みと書き込み	ファイルからのデータの読み込みと書き込み		
20	エラーハンドリングと例外処理	エラーハンドリングと例外処理		
21	構造体の定義と使用	構造体の定義と使用		
22	構造体へのメンバーのアクセス	構造体へのメンバーのアクセス		
23	共用体の概念と利用方法	共用体の概念と利用方法		
24	ダイナミックメモリの割り当てと解放	ダイナミックメモリの割り当てと解放		
25	メモリリークの防止策	メモリリークの防止策		
26	メモリの効率的な使用方法	メモリの効率的な使用方法		
27	プリプロセッサディレクティブの使用	プリプロセッサディレクティブの使用		
28	マクロの定義と使用ポインタ	マクロの定義と使用ポインタ		
29	条件付きコンパイル	条件付きコンパイル		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・新・明解C言語 入門編		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
データ構造		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク
授業の概要				
さまざまなデータ構造(配列、リスト、スタック、キュー、ツリーなど)の概念と特性を理解させる。データを効率的かつ効果的に管理するための基礎知識を学ぶ。				
授業終了時の到達目標				
さまざまなデータ構造(配列、リスト、スタック、キュー、ツリーなど)の概念と特性を理解させる。データを効率的かつ効果的に管理するための基礎知識を学ぶ。				
回	テーマ	内容		
1	データ構造の基本概念	データ構造の基本概念		
2	時間と空間の計算量の分析	時間と空間の計算量の分析		
3	静的配列と動的配列	静的配列と動的配列		
4	一次元配列と多次元配列	一次元配列と多次元配列		
5	シンプルリンクリストとダブルリンクリスト	シンプルリンクリストとダブルリンクリスト		
6	スタックの基本的な操作(push、pop)	スタックの基本的な操作(push、pop)		
7	スタックの応用(逆ポーランド記法、バックトラッキング)	スタックの応用(逆ポーランド記法、バックトラッキング)		
8	二分木の概念と表現	二分木の概念と表現		
9	二分探索木とその操作(挿入、検索、削除)	二分探索木とその操作(挿入、検索、削除)		
10	ハッシュ関数の概念と設計	ハッシュ関数の概念と設計		
11	衝突処理の方法(オープンアドレス法、チェイン法)	衝突処理の方法(オープンアドレス法、チェイン法)		
12	ハッシュテーブルの応用(データベース、キャッシュ)	ハッシュテーブルの応用(データベース、キャッシュ)		
13	グラフの基本的な概念と表現方法	グラフの基本的な概念と表現方法		
14	グラフの探索アルゴリズム(深さ優先探索、幅優先探索)	グラフの探索アルゴリズム(深さ優先探索、幅優先探索)		
15	期末試験	期末試験		

回	テ ー マ	内 容		
16	ヒープの概念と操作（挿入、削除、ヒープソート）	ヒープの概念と操作（挿入、削除、ヒープソート）		
17	優先度キューの実装方法	優先度キューの実装方法		
18	グラフの最小全域木（プリムのアルゴリズム、クラスカルのアルゴリズム）	グラフの最小全域木（プリムのアルゴリズム、クラスカルのアルゴリズム）		
19	ダイクストラのアルゴリズムと最短経路問題	ダイクストラのアルゴリズムと最短経路問題		
20	動的計画法とその応用（ナップサック問題、最長共通部分列）	動的計画法とその応用（ナップサック問題、最長共通部分列）		
21	連結リストの高度な操作（挿入、削除、逆順、部分リストの取得）	連結リストの高度な操作（挿入、削除、逆順、部分リストの取得）		
22	平衡二分探索木（AVL木、赤黒木）	平衡二分探索木（AVL木、赤黒木）		
23	グラフの最短経路（ベルマンフォードのアルゴリズム、ワーシャルフロイドのアルゴリズム）	グラフの最短経路（ベルマンフォードのアルゴリズム、ワーシャルフロイドのアルゴリズム）		
24	文字列の検索アルゴリズム（ブルートフォース法、KMP法）	文字列の検索アルゴリズム（ブルートフォース法、KMP法）		
25	高度なハッシュテーブル（パフォーマンスの向上、一意のキー生成）	高度なハッシュテーブル（パフォーマンスの向上、一意のキー生成）		
26	トポロジカルソートと強連結成分分解	トポロジカルソートと強連結成分分解		
27	データ構造の応用例の紹介（グラフデータベース、空間分割木）	データ構造の応用例の紹介（グラフデータベース、空間分割木）		
28	選択アルゴリズム（クイックセレクト、中央値の選択）	選択アルゴリズム（クイックセレクト、中央値の選択）		
29	ソートアルゴリズムの比較と安定性の考察	ソートアルゴリズムの比較と安定性の考察		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・新・明解C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造第2版 ・プログラミングコンテスト攻略のためのアルゴリズムとデータ構造 		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
基礎実習		医療事務学科 IT情報コースIT情報コース/1年	2023/通年	実習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	8単位(120時間)	必須	河合, 沈
授業の概要				
日本語クラス1: 中上級読解・語彙・文法 日本語クラス2: 初級文法・語彙・会話、JLPT練習問題				
授業終了時の到達目標				
日本語クラス1: 読解を通して、日本の文化等を理解する。中上級の文法・語彙等を理解し、JLPT N2レベル以上の読解力を身に着ける。 日本語クラス2: 初級で学ぶ文法・語彙等を理解し、基本的な日本語会話ができる。JLPTN3合格				
回	テーマ	内 容		
1	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: レベルチェック 日本語クラス2: レベルチェック		
2	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 自己紹介、教室用語、挨拶		
3	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 1課~4課-----15日		
4	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 5課~7課----16日		
5	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 1課~11課復習・会話練習---22日		
6	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 12課~14課-----23日		
7	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 18課~19課-----29日		
8	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 動詞の変形試験、既習文法の復習・会話 練習		
9	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 20課 普通形 6月5日		
10	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: グループ分け て形、ない形、辞書形の 復習 6月7日		
11	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 20課 普通形の復習&練習 6/12		
12	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 20課 練習&会話 6/14		
13	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 21課		
14	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 読解 日本語クラス2: 22課		
15	日本語クラス1: 中上級日本語 日本語クラス2: 初級日本語	日本語クラス1: 発表・JLPTN2 日本語クラス2: 2 日本語クラス2: 22課		

回	テ ー マ	内 容		
56	日本語クラス1：中上級日本語 日本語クラス2：初級日本語	日本語クラス1：読解 日本語クラス2：49課		
57	日本語クラス1：中上級日本語 日本語クラス2：初級日本語	日本語クラス1：発表・JLPTN2 日本語クラス2：50課		
58	日本語クラス1：中上級日本語 日本語クラス2：初級日本語	日本語クラス1：読解 日本語クラス2：50課		
59	日本語クラス1：中上級日本語 日本語クラス2：初級日本語	日本語クラス1：試験対策授業 日本語クラス2：試験対策授業		
60	日本語クラス1：中上級日本語 日本語クラス2：初級日本語	日本語クラス1：期末試験 日本語クラス2：期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語クラス1：クローズアップ日本事情 15（ジャパントイムズ出版社）、新完全マ スターN2（文法・語彙） 日本語クラス2：みんなの日本語初級Ⅱ		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
アルゴリズム		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク

授業の概要

アルゴリズムの基本概念と特性を理解する。アルゴリズムの設計と分析における重要な考え方、効率性、正確性、可読性について学ぶ。

授業終了時の到達目標

アルゴリズムの基本概念と特性を理解する。アルゴリズムの設計と分析における重要な考え方、効率性、正確性、可読性について学ぶ。

回	テーマ	内容
1	アルゴリズムの基本概念	アルゴリズムの基本概念
2	アルゴリズムの設計と分析の重要性	アルゴリズムの設計と分析の重要性
3	時間と空間の計算量の評価	時間と空間の計算量の評価
4	バブルソート	バブルソート
5	選択ソート	選択ソート
6	挿入ソート	挿入ソート
7	クイックソート	クイックソート
8	マージソート	マージソート
9	ヒープソート	ヒープソート
10	線形探索	線形探索
11	二分探索	二分探索
12	ハッシュ探索	ハッシュ探索
13	深さ優先探索	深さ優先探索
14	幅優先探索	幅優先探索
15	期末試験	期末試験

回	テーマ	内容		
16	動的計画法とその応用（ナップサック問題、最長増加部分列）	動的計画法とその応用（ナップサック問題、最長増加部分列）		
17	貪欲法とその応用（最小全域木、最短経路）	貪欲法とその応用（最小全域木、最短経路）		
18	バックトラッキングとその応用（ナンバープレース、N-クイーン問題）	バックトラッキングとその応用（ナンバープレース、N-クイーン問題）		
19	分割統治法とその応用（クロス数のカウント、最近点对の検索）	分割統治法とその応用（クロス数のカウント、最近点对の検索）		
20	グラフアルゴリズムの応用（最小カット、トポロジカルソート）	グラフアルゴリズムの応用（最小カット、トポロジカルソート）		
21	動的計画法の高度な応用（最短経路、最長共通部分列）	動的計画法の高度な応用（最短経路、最長共通部分列）		
22	数値計算アルゴリズム（二分法、ニュートン法）	数値計算アルゴリズム（二分法、ニュートン法）		
23	乱択アルゴリズムと確率的アルゴリズム（クイックセレクト、モンテカルロ法）	乱択アルゴリズムと確率的アルゴリズム（クイックセレクト、モンテカルロ法）		
24	文字列アルゴリズム（文字列照合、最長共通接頭辞）	文字列アルゴリズム（文字列照合、最長共通接頭辞）		
25	並列アルゴリズムと分散アルゴリズム	並列アルゴリズムと分散アルゴリズム		
26	NP完全性と近似アルゴリズム	NP完全性と近似アルゴリズム		
27	データ構造の応用例の紹介（グラフデータベース、空間分割木）	データ構造の応用例の紹介（グラフデータベース、空間分割木）		
28	動的計画法の最適性と限界（ベルマンフォード法、Floyd-Warshall法）	動的計画法の最適性と限界（ベルマンフォード法、Floyd-Warshall法）		
29	ネットワークフロー問題とその解法	ネットワークフロー問題とその解法		
30	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・新・明解C言語で学ぶアルゴリズムとデータ構造第2版 ・プログラミングコンテスト攻略のためのアルゴリズムとデータ構造 		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
情報科学史		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	範 一平
授業の概要				
wordを学習することによって、ビジネスやスクールライフでより良いレポート、卒業論文、報告書などを作成することができます。				
授業終了時の到達目標				
留学生が日本語入力することができ、wordを使って基本文書を作成することができるようにする。				
回	テーマ	内 容		
1	授業(Microsoft World 2019)	オリエンテーション、この授業内容の紹介や成績評価など。		
2	授業(Microsoft World 2019)	Windows, Wordの紹介、記号の入力、IMEパッドの利用。		
3	授業(Microsoft World 2019)	ページ設定、挨拶文の入力、文字のコピー移動、文字の配置、インデント。		
4	授業(Microsoft World 2019)	表の作成、表のレイアウト変更、表に書式を設定、表にスタイルの適用。		
5	授業(Microsoft World 2019)	文字の効果、書式コピー、行間設定、ルーラーの表示、ドロップキャップ。		
6	授業(Microsoft World 2019)	ワードアートと図形の挿入、画像の挿入、ページ罫線の作成。		
7	授業(Microsoft World 2019)	文書内の単語の検索、置換、PDFファイルとして保存。		
8	授業(Microsoft World 2019)	総合練習七と総合練習八を使って第一回から第7回授業の復習。		
9	授業(Microsoft World 2019)	総合練習九と総合練習十を使って第一回から第7回授業の復習。		
10	授業(Microsoft World 2019)	情報処理検定試験の問題を用いて今までの勉強内容の練習		
11	授業(Microsoft World 2019)	情報処理検定試験の問題を用いて今までの勉強内容の練習		
12	授業(Microsoft World 2019)	情報処理検定試験の問題を用いて今までの勉強内容の練習		
13	授業(Microsoft World 2019)	情報処理検定試験の問題を用いて今までの勉強内容の練習		
14	授業(Microsoft World 2019)	情報処理検定試験の問題を用いて今までの勉強内容の練習		
15	テスト	前期の実力を確認するための期末テストの実施。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
よくわかるMicrosoft World 2019基礎 よくわかるMicrosoft World 2019応用		出席率 授業態度 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピューター実技 1		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	範 一平

授業の概要

表計算ソフトの操作に関して基礎的な技能を有し、日常業務において独力で表作成ができる基礎的な知識の習得を目指す。

授業終了時の到達目標

Microsoft Excelの基本的な操作を理解し、フォーミュラと関数の使用、データの整理とフィルタリング、グラフの作成、ワークシートの管理ができることによって、学生はMicrosoft Excelを効果的に活用し、仕事や学術に役立てるようにする。

回	テーマ	内容
1	授業(Microsoft Excel 2019)	表作成の基本 表計算ソフトとは。データ入力の基本。
2	授業(Microsoft Excel 2019)	表作成の基本 表計算ソフトとは。データ入力の基本。
3	授業(Microsoft Excel 2019)	基本的な表の作成 罫線、表示形式、列幅、書式の変更、オートフィル
4	授業(Microsoft Excel 2019)	基本的な関数 合計、平均、最大、最小、数のカウント
5	授業(Microsoft Excel 2019)	表示形式応用 小数点、%を含んだ表の作成
6	授業(Microsoft Excel 2019)	グラフ基礎 グラフ作成の基礎
7	授業(Microsoft Excel 2019)	絶対参照と相対参照 構成比率を計算する為のセルの固定(絶対参照)と相対参照の使い方。
8	授業(Microsoft Excel 2019)	並べ替え、オートフィルタ、セルの結合
9	授業(Microsoft Excel 2019)	表作成 今までの総合的操作の確認
10	授業(Microsoft Excel 2019)	総合問題を用いて今まで習得した内容の練習
11	授業(Microsoft Excel 2019)	総合問題を用いて今まで習得した内容の練習
12	授業(Microsoft Excel 2019)	情報処理検定試験を使っでの練習
13	授業(Microsoft Excel 2019)	情報処理検定試験を使っでの練習
14	授業(Microsoft Excel 2019)	情報処理検定試験を使っでの練習
15	中間テスト	後期の実力を確認するための期末テストの実施。

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
Microsoft Excel 2019基礎 (よくわかる)	出席率 授業態度 期末試験	20.0% 20.0% 60.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
実用HTML		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク
授業の概要				
HTMLの構文や要素の使用方法を通じて、ウェブページの作成と構造化について学ぶ				
授業終了時の到達目標				
HTMLの構文や要素の使用方法を通じて、ウェブページの作成と構造化について学ぶ				
回	テーマ	内容		
1	HTMLの概要と歴史	HTMLの概要と歴史		
2	HTML文書の作成と基本構造	HTML文書の作成と基本構造		
3	タグと要素の使用	タグと要素の使用		
4	テキストの装飾(見出し、段落、強調、リスト)	テキストの装飾(見出し、段落、強調、リスト)		
5	ハイパーリンクの作成と使用	ハイパーリンクの作成と使用		
6	画像の挿入と表示	画像の挿入と表示		
7	動画と音声の埋め込み	動画と音声の埋め込み		
8	テーブルの作成とデータの表示	テーブルの作成とデータの表示		
9	テーブルの装飾と書式設定	テーブルの装飾と書式設定		
10	入力フォームの作成	入力フォームの作成		
11	フォームの送信とデータの処理	フォームの送信とデータの処理		
12	CSSの概要と役割	CSSの概要と役割		
13	スタイルの適用方法	スタイルの適用方法		
14	レイアウトとボックスモデル	レイアウトとボックスモデル		
15	期末試験	期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・1冊ですべて身につくHTML & CSSとWebデザイン入門講座		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本事情 1		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	河合, 沈
授業の概要				
日本語レベル1: 日本のビジネスマナー、場面にふさわしい日本語表現、語彙 日本語レベル2: 日本語初級文法・語彙・会話、JLPT練習問題				
授業終了時の到達目標				
日本語レベル1: 仕事で遭遇する様々な場面で、よい人間関係を築き、スムーズに業務が行えるようになる。 日本語レベル2: 前期: 初級で学ぶ文法・語彙を理解し、簡単な会話ができる。後期: JLPTN3対策				
回	テーマ	内容		
1	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 自己紹介 日本語レベル2: みんなの日本語8課~11課		
2	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: あいさつ 日本語レベル2: みんなの日本語15課~17課		
3	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 依頼 日本語レベル2: みんなの日本語て形、ない形、辞書形、た形、普通形の復習		
4	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 電話① 日本語レベル2: 21課		
5	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 電話① 日本語レベル2: 22課		
6	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 電話② 日本語レベル2: 23課		
7	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 電話② 日本語レベル2: 24課		
8	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: あいづち 日本語レベル2: 25課		
9	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 雑談力をみがく 日本語レベル2: まとめ		
10	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 慰める・はげます 日本語レベル2: 26課		
11	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 会社で使うことば 日本語レベル2: 27課		
12	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 会社訪問のマナー 日本語レベル2: 28課		
13	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 敬語・謙譲語 日本語レベル2: 29課		
14	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 試験対策授業 日本語レベル1: 試験対策 日本語レベル2: 試験対策		
15	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・会話	日本語レベル1: 中間試験 日本語レベル1: 中間試験 日本語レベル2: 中間試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語レベル1: 日本語で働く ビジネス 日本語30時間 日本語レベル2: みんなの日本語初級 I		中間試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語 1		医療事務学科 II情報コー スII情報コース/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	河合, 沈
授業の概要				
日本語レベル1: 日本のビジネスマナー、場面にふさわしい日本語表現、語彙 日本語レベル2: JLPT練習問題				
授業終了時の到達目標				
日本語レベル1: 仕事で遭遇する様々な場面で、よい人間関係を築き、スムーズに業務が行えるようになる。 日本語レベル2: JLPTN4~3対策				
回	テーマ	内容		
1	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(注意をする・受ける) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
2	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(注意をする・受ける) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
3	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(注意をする・受ける) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
4	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(頼む・断る) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
5	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(頼む・断る) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
6	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(許可をもらう) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
7	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(許可をもらう) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
8	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(許可をもらう) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
9	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(アポイントをとる) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
10	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(アポイントをとる) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
11	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(アポイントをとる) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
12	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(訪問する) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
13	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: ビジネス日本語30時間(訪問する) 日本語レベル2: JLPTN4~3対策		
14	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: 試験対策授業 日本語レベル2: 試験対策授業		
15	日本語レベル1: ビジネス日本語 日本語レベル2: 初級語彙・文法・ 会話	日本語レベル1: 期末試験 日本語レベル2: 期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語レベル1: 日本語で働く ビジネス 日本語30時間 日本語レベル2: JLPTN4~3対策テキスト		期末試験 出席率 授業態度	50.0% 30.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
離散数学 1		医療事務学科 II情報コース II情報コース/1年	2023/通年	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	永山 督

授業の概要

現代社会を支えている情報通信技術 (ICT) の発達により、人口知能、ビッグデータ、機械学習、自動運転などが実用化されている。これらを活用する手順の中で重要な役割を果たすのが数学的手法であり、その基礎となるのが離散数学である。

授業終了時の到達目標

基礎である命題論理、集合、帰納的定義と証明技法、数え上げ、関係、関数、グラフ、木を扱い、アルゴリズム理解の基礎を学ぶ

回	テーマ	内容
1	命題論理	命題 論理式
2	命題論理	論理式の真偽 論理式の標準形
3	集合	集合の要素と記法 集合の種類
4	集合	集合どうしの関係 集合どうしの演算 論理と集合
5	関係	関係の基礎 関係の表し方
6	関係	関係の演算 関係の性質 同地関係
7	前半のまとめ	命題 論理 集合 関係についてのまとめ
8	関数	関数 関数の分類
9	関数	関数の合成 関係や置換と関数
10	関数	再帰関数
11	グラフと木	グラフの基礎 無向グラフ グラフの連結性
12	グラフと木	有向グラフ グラフの行列表現
13	グラフと木	木の種類 2分木とその探索 全域木と最小全域木
14	後半のまとめ	関数 グラフ 木についてのまとめ
15	期末試験	

教科書・教材	評価基準	評価率	その他
①情報系のための離散数学 猪股 俊光 ②使いこなそうやさしい離散数学 (情報系のための数学5) 守屋 悦朗 ③離散数学入門 (情報系のための数学2) 離散数学入門 (情報系のための数学) 守屋 悦朗 ④グラフ理論入門グラフ理論入門 R. J. ウィルソン ⑤グラフ理論入門:基本とアルゴリズム 宮崎 修一 ⑥例題で学ぶグラフ理論 安藤 清			

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ビジネスマナー1		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	島袋 博樹
授業の概要				
ビジネスマナーの考え方や重要性を学び、社会人としてのビジネススキル・コミュニケーションスキルを習得する。				
授業終了時の到達目標				
最低限のビジネスマナーを習得し、即戦力として活躍できる知識を養う。				
回	テーマ	内容		
1	キャリアスタディの学習内容と進め方について	キャリアスタディについての学習内容や達成目標などについての説明、社会人とは何かについて考える		
2	ビジネスマナー基礎① ~挨拶・お辞儀~	基本的な挨拶について学習する		
3	ビジネスマナー基礎② ~身だしなみ~	ビジネスシーンにふさわしい服装などについて学習する		
4	ビジネスマナー基礎③ ~来客・訪問~	お客様や取引先の方への対応などについて学習する		
5	ビジネスマナー基礎④ ~報告・連絡・相談~	業務遂行のために必要なことについて学習する		
6	ビジネスマナー基礎⑤ ~言葉遣い~	社会人としての言葉遣いを学習する		
7	ビジネスマナー基礎⑥ ~コミュニケーションスキル~	伝わる話し方やクッション言葉、メモを取るなどについて学習する		
8	ビジネスマナー基礎⑦ ~電話対応~	基本的な電話対応を学習する		
9	ビジネスマナー基礎⑧ ~ビジネス文書~	社内文書と社外文書、メールなどについて学習する		
10	自己PR①	就職活動に向けた自己PR演習・発表		
11	自己PR②	就職活動に向けた自己PR演習・発表		
12	志望動機①	就職活動に向けた企業への志望動機演習・発表		
13	志望動機②	就職活動に向けた企業への志望動機演習・発表		
14	後期まとめ	キャリアスタディ後期の総復習		
15	期末試験	キャリアスタディ期末試験		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
・適宜、プリント配布		出席率 授業態度 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

作成者:

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
C言語 2		医療事務学科 IT情報コース IT情報コース/1年	2023/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	呉 シーテク

授業の概要

C言語でプログラミングの基本的な構成や用語を勉強する。

授業終了時の到達目標

C言語でプログラミングの基本的な構成や用語を勉強する。

回	テーマ	内容
1	メモリの静的割り当てと動的割り当て	メモリの静的割り当てと動的割り当て
2	malloc()とfree()関数の使用	malloc()とfree()関数の使用
3	文字列処理関数 (strcpy、strlen、strcatなど)	文字列処理関数 (strcpy、strlen、strcatなど)
4	数学関数 (sqrt、sin、cosなど)	数学関数 (sqrt、sin、cosなど)
5	ビット演算子の使用	ビット演算子の使用
6	ビットフィールドの定義と操作	ビットフィールドの定義と操作
7	ビット演算を活用した問題解決	ビット演算を活用した問題解決
8	関数ポインタの定義と使用	関数ポインタの定義と使用
9	コールバック関数の概念と応用	コールバック関数の概念と応用
10	高度な関数ポインタの使用例	高度な関数ポインタの使用例
11	標準ライブラリの活用 (math.h、string.hなど)	標準ライブラリの活用 (math.h、string.hなど)
12	カスタムライブラリの作成と使用	カスタムライブラリの作成と使用
13	ライブラリのリンクと共有ライブラリの作成	ライブラリのリンクと共有ライブラリの作成
14	スレッドの基本概念と作成	スレッドの基本概念と作成
15	スレッド間の同期と通信	スレッド間の同期と通信

回	テ ー マ	内 容		
16	マルチスレッドプログラミングの応用例	マルチスレッドプログラミングの応用例		
17	デバッグの基本的な手法とツール	デバッグの基本的な手法とツール		
18	エラーハンドリングと例外処理の概念	エラーハンドリングと例外処理の概念		
19	ソートアルゴリズムの詳細な解説と実装	ソートアルゴリズムの詳細な解説と実装		
20	グラフ理論とグラフアルゴリズムの基礎	グラフ理論とグラフアルゴリズムの基礎		
21	より高度なデータ構造（リスト、ツリー、ハッシュテーブルなど）の実装と使用	より高度なデータ構造（リスト、ツリー、ハッシュテーブルなど）の実装と使用		
22	ソケットプログラミングの詳細な解説と実装	ソケットプログラミングの詳細な解説と実装		
23	TCP/IPプロトコルとネットワーク通信の基礎知識	TCP/IPプロトコルとネットワーク通信の基礎知識		
24	クライアント-サーバーモデルや非同期通信の実装	クライアント-サーバーモデルや非同期通信の実装		
25	ビットマスクの高度な使用法とビット操作の最適化	ビットマスクの高度な使用法とビット操作の最適化		
26	ビットフィールドの応用例と効果的な使用法	ビットフィールドの応用例と効果的な使用法		
27	C言語の拡張ライブラリ（例：GTK、OpenGL）の使用法	C言語の拡張ライブラリ（例：GTK、OpenGL）の使用法		
28	外部インタフェース（例：データベース、ファイルフォーマット）の操作方法	外部インタフェース（例：データベース、ファイルフォーマット）の操作方法		
29	サードパーティライブラリの統合と使用法	サードパーティライブラリの統合と使用法		
30	期末試験			
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・新・明解C言語 入門編 ・新・明解C言語 中級編 		出席率 期末試験	20.0% 80.0%	